

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

3 - 5

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	各種計画に基づく保存管理
	節			
事業(施策)名	5 史跡保存活用計画に基づく保存管理		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28 ~ H34	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局(地域整備部、農林水産振興部)、佐渡市社会教育課
事業概要	【事業目的】	国史跡「佐渡金銀山遺跡」における保存管理計画等の各種計画に基づき、対象エリアの保存管理を行う。		
	【事業内容】	史跡保存管理計画に基づき、関係機関(佐渡地域振興局・佐渡市建設課等)や所有者等との協議・調整の上、必要な整備を行う。		
④事業計画と実績	【29年度計画】	保存管理計画書を300部刊行し、関係機関や所有者等に配布する。保存管理計画に基づき、対象エリアにおける各種開発計画に関係する現状変更に対し、関係機関と協議調整を行う。		
	【29年度実績】	保存管理計画書300部を刊行し、関係機関や所有者等へ配布した。保存管理計画に基づき、各種開発計画等について関係機関と協議・調整を行った。		
課題・今後の取組	【課題】	修理や現状変更等の計画について、史跡保存管理計画に基づき、関係機関や所有者等との協議・調整を行う必要がある。 法令・規則等に基づく文化財保護のための行政措置の徹底(3-4)と連携して実施する。		
	【今後の取組】	今後も継続して開発行為に係る事業の把握や関係機関との事前協議を行うとともに、現状変更等の手続きについて、関係者へ周知徹底を図る。		
事業評価	【事業の達成度】 ( a (b) · c )	計画どおり保存管理計画を刊行したことから、B評価とした。今後も保存管理計画に基づき、引き続き関係機関等との協議・調整を図りたい。		
	【事業実施の効果】 ( a (b) · c )			
	【総合評価】 ( A (B) · C )			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。